

事業名	国民体育大会選手派遣費			調書番号	112
細事業名	国体選手派遣費事業費	財務コード	164102		
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康課	競技スポーツ	担当 (内線)	8434

事業の概要

実施期間	始期	S 62 年度	～	終期	年度
実施主体	県(直営)				
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか		
	関東ブロック大会及び国民体育大会出場選手	本部役員が選手を激励することで選手の意識を高揚させ 関東ブロック大会を突破している 本国体で入賞している	競技スポーツの推進		
内容	関東ブロック大会及び国民体育大会への山梨県選手団本部役員の派遣に伴う、交通費や宿泊費を支給 ・(関東ブロック大会10人、本国体26人、スケート7人、スキー6人) 49人 ・本部役員の応援・激励				

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	本部役員参加数	目標	49	49	49	49	49	49
		実績(見込)	46	50	49	48	46	49
		達成率	93.9	102.0	100.0	98.0	93.9	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	国民体育大会天皇杯で900点	目標	900	900	900	900	900	900
		実績(見込)	751	857	892	819	954	900
		達成率	83.4	95.2	99.1	90.9	105.9	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		6,597	7,064	7,558	7,896	5,476	10,710	11,326

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	本部役員が選手を激励し、県の代表としての意識高揚を図り、関東ブロック大会突破、本国体入賞の原動力とすることで、国民体育大会天皇杯において900点を獲得するという目標を達成した
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	県の代表として、選手の意識高揚を図ることは、国民体育大会天皇杯において900点を獲得するという目標の達成に有効である		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(各競技団体からの要望が非常に強く、現状としては改善の余地はない)		
その他	説明			
見直しの必要性	無	本部役員から、応援・激励の成果が出ているため継続してやってほしいとの要望が出ており、現状としては見直しの必要性はない。		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。